

2025年度第2回音環境運営委員会議事録

記録：岡本則子（幹事）

日時：2025年9月30日（火）17:00～19:00

場所：Zoomを用いたリモート会議

出席者：川井敬二（主査）、岡本則子（幹事）、山内崇（幹事）、池上雅之、上野佳奈子、エバンズ直子、古賀貴士、小柳慎一郎、坂本慎一、佐久間哲哉、竹林健一、田中学、富田隆太、中澤真司、濱田幸雄、平栗靖浩、森長誠、安田洋介（順不同、敬称略）

欠席者：羽入敏樹（敬称略）

提出資料：

- 資料2-0 2025年度第1回音環境運営委員会議事録(案)
- 資料2-1 2025年度第2回音環境運営委員会__議事次第
- 資料2-2 第2回環境工学本委員会
- 資料2-3 AIJ2025若手優秀発表審査結果
- 資料2-4 固体音小委員会_WG設置申請
- 資料2-5 意見交換会参加者からの意見の分析_企画・広報WG
- 資料2-6 2026年度AIJ大会OS案(音環境規準検討小委員会)

1) 前回議事録の確認

- ・ 原案通り承認された。（資料2-0）

2) 環境工学本委員会の報告（資料2-2） *（報告事項に伴う議事を斜体で示す）*

- 2025年9月30日に開催された第2回環境工学本委員会について川井主査から以下の報告があった。
- ・ 男女共同参画推進委員会より、委員会等における女性会員の参画機会の拡大についての依頼があった。環境工学運営委員会の女性比率は約19%。正会員の比率よりは高い。（p.12-p.16）
- ・ 音環境運営委員会による「子ども家庭庁への要望書」の提出に関する審議が行われ、承認された。（p.18-p.24）
- ・ 2026年度の環境工学委員会の予算配分方針が示された。例年通りの配分となる予定。12月開催の学術推進委員会後に確定する。（p.25-p.26）
- ・ 2026年日本建築学会大賞業績候補・文化賞候補業績の推薦依頼があった。（p.28-p.30）
- ・ 日本建築学会環境基準 AIJES 集合住宅の音環境性能規準・設計指針、同建築空間の吸音設計規準・指針、建物の音環境設計のための実用的計算方法の3冊が2026年度に刊行予定。（p.34-p.35）
- ・ 2026年度に制定等から5年を経過するAIJESの改定・確認・廃止の検討結果が報告された。AIJES-S0002-2011 都市・建築空間における音声伝送性能評価規準・同解説については、音環境規準検討小委員会により検討され、「改定・廃止の必要なし」として提出された。（p.37）
- ・ 音響数値解析小委員会によるハンズオンセミナー「汎用数値解析ソフトウェアを用いた室内音響シミュレーション」の実施結果が報告された。（p.38）
- ・ 運営委員会への依頼事項・提出日程が示された。（p.64）
 - 次年度活動計画案・予算原案、講習会等事業企画書[締切:10月20日] *（音環境運営委員会締切:10月10日）*
 - 小委員会活動成果報告書[2月25日]
 - 大賞業績候補推薦、文化賞候補業績推薦[各運営委員会からの推薦関連書類の締切：11月7日]
（今年度は音環境運営委員会からの推薦を行わず、昨年度に続き環境振動運営委員会が推薦する法政大学後藤剛史先生に投票すること、3年継続して推薦する傾向にあるため候補に挙がった日本大学井上勝夫先生の推薦については次年度以降に改めて検討することが承認された）
 - 若手優秀発表賞[締切:10月20日頃]
 - 細分類・細々分類変更[締切:11月14日] *（後日、川井主査よりメールで確認依頼の予定）*
 - オーガナイズドセッション企画[締切:11月14日]

3) 審議・報告事項（資料1-3）

- ・（審議）大会若手優秀発表賞の対象者決定について（資料2-3）
 - 採点結果に基づき対象者20名から2名を推薦することが承認された。
- ・（審議）固体音小委員会：乾式二重床の床衝撃音レベル低減量WGの設置申請について（資料2-4）。
 - 資料2-4に基づく説明があり，WGの設置が承認された。広く公募するために，委員数は少なくしている。
- ・（審議）音環境規準検討小委員会：2026年度大会OSの企画案について（資料2-6）
 - 資料2-6に基づいて，次年度の大会OS（セッション名：音環境分野の基準・規準の現在位置と将来展望）についての提案があり，承認された。今後，川井主査が手続きを進める予定。
- ・（報告・審議）企画・広報WG：意見交換会のアンケート分析結果・まとめについて（資料2-5）
 - 資料2-5に基づき，小委員会・WG編成に関するこれまでの議論，意見交換会のアンケート分析結果，今後の組織改革の方向性に関する説明が行われた。
 - 2026年度は多くの小委員会の廃止・設置のタイミングとなっており，運営委員会の組織再編の見直しが可能な状況にある。各小委員会・WGで持ち帰り，1年後に組織再編を行うかスケジュール感も含めた進め方，小委員会を超えた運営委員会全体の最適化，上記の報告に無かった視点等も含め，意見聴取をすることとなった。
 - 1月27日に第4回運営委員会を対面で実施することが承認された。同運営委員会で概ねの方向性を協議し，次年度の前半（5月頃）に対面での委員会を開催して意見を集約する予定。

4) 小委員会・WG等の活動報告

① 固体音小委員会（富田）

- ・第1回委員会を6月4日に開催。固体音と床衝撃音の課題について委員から意見を募ることとなった。将来的な床衝撃音WGの立ち上げについて議論した。実験室での床衝撃音遮断性能に関する話題提供があった。
- ・第2回委員会を9月3日に開催。委員を対象とした床衝撃音を除く固体伝搬音に関するアンケートと床衝撃音に関するアンケート結果について議論し，実務で活用されている文献リストを共有することとなった。乾式二重床の床衝撃音レベル低減量WGの設置に関する審議を行った。

② 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会（濱田）

- ・第1回委員会を4月16日にWeb会議で開催。
- ・意見交換会で得られた意見への対応及び2025～2026年度の活動内容について審議し，次の3項目を検討した：1) AIJES策定の参考になりそうな梗概やシンポ資料をピックアップし，文献・図表のリスト整理することの意義，2) 騒音感受性が集合住宅の遮音性能評価に及ぼす影響を定量的に示す方法，3) 鉄道騒音の全日 L_{Aeq} と L_{Amax} との対応を検討するための具体的測定方法

③ 建築音響測定法小委員会（竹林）

- ・第1回委員会を5月16日に開催。3月に開催された意見交換会で寄せられた意見などの紹介，これまでの小委員会の成果のまとめ，JAR（Japan Architect Review）及び建築学会大会で発表することの報告，今後の活動方針について議論を行った。
- ・第2回委員会を7月23日に開催。新規メンバーについての議論，成果報告の進捗状況（JAR及び音響学会の解説記事）についての報告，今後の活動内容についての議論（音響エネルギー密度及び実務での測定の問題点の洗い出し）を行った。
- ・第3回委員会を10月29日に開催予定。

④ 室内音響小委員会（上野）

- ・第1回委員会を4月21日，第2回を6月27日，第3回を9月17日に開催。
- ・10月20日に開催する室内音響チュートリアルシンポジウムの準備，バリアフリー建築設計標準のパブリックコメント提出及び改定内容の確認，国土交通省・社会資本整備審議会「意見箱」への意見提出についての検討を行った。
- ・10月20日に第4回委員会及び室内音響チュートリアルシンポジウムを開催予定。

- ⑤ 音響数値解析小委員会（安田）
- ・第1回委員会を6月17日に開催。
 - ・伝送系データベースの整備について、集まったデータから整備して順次公開していく方針で進める予定。
 - ・音響インピーダンスデータの整備について、修正したWebページを早期に公開する予定。
 - ・第2回委員会を10月2日に開催予定。
- ⑥ 音環境規準検討小委員会（田中）
- ・第1回委員会を5月13日，第2回を7月28日，第3回を9月25日に開催。
 - ・現在作成作業中の3件のAIJES（集合住宅音環境，建築空間の吸音設計，オフィス音環境）について，進捗や検討状況の情報を共有した。
 - ・次年度AIJ大会OSの企画担当となり，OS案を作成した。
 - ・音シンポジウムの開催を検討中。既刊3件のAIJES（学校施設の音環境保全，スピーチプライバシー，音声伝送性能）の概要紹介，設計実務者からの事例紹介，現在作成中のAIJESの概要紹介の内容で来年5月頃に開催予定。
 - ・第4回委員会を11月下旬開催予定で日程調整中。
- ⑦ 企画・広報WG（小柳）
- ・第1回会議を6月16日，第2回を9月10日に開催。意見交換会アンケート結果のまとめ資料に対して意見を出した。
 - ・資料を修正のうえ，現主査の川井先生，前主査の池上氏，企画広報幹事にて内容確認会を実施し，9月30日の運営委員会での説明資料を共有した。
 - ・意見交換会で要望する声が多かった現場見学会の再開及び建音検索システムへのLLM（Large Language Model）導入・新しい活用について議論した。
- ⑧ 子どものための音環境WG（エバンズ）
- ・会議を4回（5月13日，6月6日，6月27日，7月8日）に開催した。
 - ・こども家庭庁へ宛てた「こども施設における室内騒音環境の改善への要望書」の作成，「学びに適した学校の音環境整備」に関する外部有識者を招いた座談会の企画，吸音（廊下も含む）・遮音（部屋の配置）に関するパンフレットの作成（継続中）について，議論と準備を進めた。→同要望書については，8月19日から9月12日に行われたメールによる審議を経て，音環境運営委員会で承認された。
 - ・「学びに適した学校の音環境整備」に関する座談会を10月28日に建築会館会議室にて開催予定。
 - ・第5回会議を10月3日に開催予定。
- ⑨ 司法支援建築会議（中澤）
- ・隔年で開催される2025年司法支援建築会議全体会議・表彰式・シンポジウム「司法支援建築会議のこれまでとこれから」を5月14日に開催。
 - ・本年度第1回普及・交流部会を6月10日に開催し，大会関連行事として9/8(月)に開催した第14回司法支援建築会議建築紛争フォーラム「アスベストを巡る建築関連紛争の現状と課題」の講演打合せ，11/21(金)開催予定の第25回司法支援建築会議講演会「建築紛争の現状と課題（その7）－大阪地方裁判所における建築裁判から－」の講演準備状況の確認，第26回司法支援建築会議講演会（東京）のテーマ案選出等を行った。
- ⑩ ASJ建音研（上野）
- ・ASA・ASJによるJoint Meetingが12月1日～12月5日に開催される。
 - ・3月17日-3月19日にASJ春季研発が日大駿河台キャンパスで開催される。建築音響のSSのテーマは「ワークプレイスの音環境」。一般講演を広く募集中。
- ⑪ ASJ騒振研・環境騒音評価・東海（森永）
- ・環境騒音の評価に関する報告事例として，6月の騒振研（成田空港）で，我が国における交通騒音の曝露反応関係の再分析結果が報告された。
 - ・10月の騒振研（近畿大学）では，アジアの騒音曝露反応関係に関する発表が予定されている。

5) その他

- ・意見交換会で各小委員会・WGが資料として提示していた設置の経緯について、提出依頼があった。
- ・各小委員会・WGにより提供されたメンバーリストに基づき、音環境運営委員会のホームページを更新している。修正があれば、幹事団に連絡するよう依頼があった。また、各小委員会・WGで管理しているホームページの更新についても依頼があった。
- ・10月3日のNHKの番組：おはよう日本で、こども家庭庁への要望書が本学会で承認されたこと、園での音環境の状況等が放送される予定。

6) 今後の開催予定

第3回 11/21 (金) 17:00～19:00

第4回 1/27 (火) 17:00～19:00 (対面)

第5回 3/13 (金) 17:00～19:00

以上